

令和 6 年度 事業報告書

(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)

公益財団法人 溶接接合工学振興会

令和6年度 事業報告書

I. 溶接接合研究者・技術者に対する顕彰事業

理事会・審議員会終了後、令和5年度 木原賞受賞者2名、金澤賞受賞者1名に宮田理事長より表彰状及び副賞の授与が行われた。

木原賞・金澤賞受賞者3名のプロフィール・受賞テーマ・受賞者挨拶等は、令和6年5月28日号「溶接ニュース」及び令和6年5月15日号「鉄鋼新聞」にて紹介された。

なお、令和5年度 佐々木賞は該当者がいなかった。

1) 木原賞・金澤賞 表彰状及び副賞の贈呈

【木原賞 表彰状及び副賞 10万円目録】

- ・武岡 正樹(川崎重工業㈱)
- ・米澤 隆行(日本製鉄㈱)

【金澤賞 表彰状及び副賞 盾】

- ・朴 勝 煥(㈱日立製作所)



2) 佐々木賞 副賞の贈呈

- ・令和5年度は該当者なし

3) 木原賞・金澤賞 受賞者記念講演

受賞者記念講演を溶接学会 秋季大会(北海道科学大学)にて実施した。

日 時:令和6年9月5日(木) 13:30~15:00

場 所:溶接学会 秋季大会(北海道科学大学)

司 会 専務理事 濱本 康司

挨拶 常務理事 南 二三吉(大阪大学 名誉教授)

【木原賞】

① 武岡 正樹(川崎重工業㈱)

「アルミニウム合金と超高張力鋼の異種金属接合を可能にする新接合法の開発」

② 米澤 隆行(日本製鉄㈱)

「溶接鋼構造物の高疲労強度化と疲労強度の高度予測技術の開発」

【金澤賞】

③ 朴 勝 煥(㈱日立製作所)

「高精度動作センシングによる溶接技能のデジタル化と溶接士技能を搭載した溶接自動化技術の開発」



4) 令和6年度 木原賞・金澤賞 受賞者

【木原賞】

- ・山下 正太郎(国立大学法人 大阪大学大学院工学研究科)
「溶接冶金現象のモデル化と予測・制御技術の開発」
- ・小西 恭平(JFEスチール㈱)
「高強度鋼板の革新的アーク溶接技術の開発・実用化」

【金澤賞】

- ・小池 武(㈱神戸製鋼所)
「溶接ロボットシステム高性能化と溶接 DX 技術の開発と製品化」

5) 令和6年度 佐々木賞 受賞者

- ・猪瀬 幸太郎(㈱IHI)
「溶接力学分野を中心に溶接変形・残留応力などの知見を溶接現場の施工技術に展開、さらにレーザー溶接など新技術の実用化など溶接業界の発展に対して大きく貢献、ならびに後進の指導・育成における功績が認められたため」
- ・川本 篤寛(パナソニック コネクト㈱)
「多年にわたるアーク溶接およびレーザー溶接プロセスならびに、その機器開発を通して、技術の発展ならびに製造現場における生産性向上に貢献、また業務に関連した技術者に対し教育・指導・育成した功績が認められたため。」

II. 溶接接合研究者・技術者の交流事業

1) 第33回セミナー

「カーボンニュートラルを迎えると鉄と鋼はどうなる？」について各講師からの講演が行われた。
セミナーには溶接接合にかかわる産業界・学協会の方々50名の参加があり、講演終了後には参加者との質疑応答や意見交換が活発に行われた。

日 時: 令和6年11月14日(木) 13:00ー17:30

場 所: 溶接会館 2階ホール 対面-WEB ハイブリット開催

テーマ: カーボンニュートラルを迎えると鉄と鋼はどうなる？

開会挨拶: (公財)溶接接合工学振興会

理 事 長 宮田 隆司 氏

趣旨説明・司会: JFEスチール㈱

田川 哲哉 氏

講 演: ①MIDREX プロセス～カーボンニュートラルへの挑戦～
神戸製鋼所㈱

畠山 泰二 氏

②日本 casting における CO2 削減への取り組み
～グリーン キャスティング®の製造販売に至るまで～
日本 casting ㈱

大山 伸幸 氏

③カーボンニュートラル実現に向けた水素製鉄プロジェクトの取り組み
(一財)日本金属系材料開発センター(JRCM)

加藤 徹 氏

④カーボンニュートラル時代に向けた電炉法の現状と展望
JFEテクノリサーチ㈱

三木 祐司 氏



Ⅲ. 溶接技術人材の育成事業

1) 工業高等学校等への溶接機材助成事業

溶接界の将来を担う人材育成を積極的に推進するため全国の工業高等学校等を対象に実施している溶接機寄付事業「溶接接合に係る若年者の教育活動支援」は、令和6年度公募期間（令和6年8月1日～令和6年9月30日）に全国から57校の応募があった。令和7年1月30日「溶接機助成審査委員会委員長 青山 和浩 東京大学大学院 教授」を開催し、令和6年度は下記14校に直流アーク溶接機、半自動溶接機の寄付を決定した。

また、溶接機は令和7年1月～令和7年3月迄に寄付校へ全て搬入した。

No.	都道府県	学 校 名	溶接機種別	メーカー
1.	青森県	八戸工業大学第一高等学校	半自動溶接機	ダイヘン製
2.	秋田県	秋田県立秋田工業高等学校	直流アーク溶接機	パナソニック製
3.	秋田県	秋田県立大館桂桜高等学校	直流アーク溶接機	ダイヘン製
4.	秋田県	秋田県立鹿角高等学校	直流アーク溶接機	ダイヘン製
5.	千葉県	千葉県立市川工業高等学校	直流アーク溶接機	ダイヘン製
6.	大阪府	大阪府立佐野工科高等学校	直流アーク溶接機	ダイヘン製
7.	岡山県	岡山県立水島工業高等学校	直流アーク溶接機	パナソニック製
8.	徳島県	徳島県立阿南光高等学校	直流アーク溶接機	パナソニック製
9.	徳島県	徳島県立つるぎ高等学校	直流アーク溶接機	ダイヘン製
10.	愛媛県	愛媛県立吉田高等学校	直流アーク溶接機	パナソニック製
11.	熊本県	熊本県立水俣高等学校	直流アーク溶接機	パナソニック製
12.	熊本県	熊本県立球磨工業高等学校	直流アーク溶接機	パナソニック製
13.	鹿児島県	鹿児島県立曽於高等学校	直流アーク溶接機	ダイヘン製
14.	鹿児島県	鹿児島県立薩南工業高等学校	半自動溶接機	ダイヘン製



千葉県立市川工業高等学校



徳島県立阿南光高等学校



大阪府立佐野工科高等学校



岡山県立水島工業高等学校

2) 令和 6 年度 関東甲信越地区機械工業教育研究会 第 69 回 研究大会・研究協議会への協力

関東甲信越地区機械工業教育研究会((公社)全国工業高校長協会傘下の組織)の依頼により令和 6 年度 関東甲信越地区機械工業教育研究会 第 69 回 研究大会・研究協議会で濱本 康司 専務理事が「溶接技術の歴史と進化 交流被覆アーク溶接から直流被覆アーク溶接へ」について講演し、溶接接合工学振興会が実施している「溶接機助成事業」とともに活動を PR した。



3) 公益社団法人全国工業高等学校長協会主催 令和 6 年度 夏季講習会への協力

公益社団法人全国工業高等学校長協会(以下、全工協)では、毎年、全国の工業系高等学校の教職員を対象とした各種の夏季講習会を開催しており、令和6年度より、全工協が主催する夏季講習会に日本溶接協会が協賛、溶接接合工学振興会が日本溶接協会に協力し、溶接についての講習会を3地区で開催した。





VI. 理事会・評議員会等、各委員会活動

1. 理事会

- 第1回 令和6年5月14日(火) 10:30～12:00
 臨時 令和6年11月25日(月) みなし決議
 第2回 令和7年3月4日(火) 13:30～15:30

2. 評議員会

- 定 時 令和6年6月5日(水) 11:00～12:00

3. 評議員選定委員会

- 令和6年5月31日(金) みなし決議

4. 審議委員会

- 第1回 令和6年5月14日(火) 10:30～12:00

5. 審査委員会

- ① 溶接機助成 令和6年10月30日(水) 15:00～17:10 溶接会館5階C会議室
 ② 木原賞・金澤賞 令和7年1月30日(木) 13:00～15:30 溶接会館5階C会議室
 ③ 佐々木賞 令和7年2月12日(火) 書類審査 溶接学会と合同審査

6. 企画委員会

- 第1回 令和6年4月23日(水) 10:30～14:00 大阪大学 中之島センター
 第2回 令和6年9月5日(木) 11:00～12:30 北海道科学大学
 臨時 令和7年2月3日(月) 10:30～12:00 溶接会館5階A会議室

VII. 会員の異動

賛助会員

		会員数
令和6年4月1日現在		27
年度異動	増	0
	減	3
令和7年3月31日現在		24

令和 6 年度事業報告 附属明細書

令和 6 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しない。